

1. 農林水産業元気再生戦略(第1～3次)の成果

○農林水産業は、県民、そして国民のいのちを支える本県の基盤産業であり、その振興に向けて、県産農林水産物の高付加価値化、ブランド力の向上に向けた取組みを集中的に展開

これまでの取組みによる主な成果

- 【農林水産業を起点とする産出額】
2,348億円(H21) → 3,247億円(H30)に上昇(+899億円、+38.3%)
- 【農業産出額】
2,022億円(H21) → 2,480億円(H30)に上昇(+458億円、+22.7%:東北1位)
- 【生産農業所得】
604億円(H21) → 1,080億円(H30)に上昇(+476億円:東北1位、+78.8%:東北1位)

2. 本県農林水産業が直面する課題

○人口減少・高齢化等による担い手の減少、中山間等の農山漁村における集落機能の低下による耕作放棄地の増加等
⇒農山漁村集落の維持・発展に向けた多様な担い手の確保・育成への支援
⇒スマート農業の普及による省力化や生産性の向上に向けたデジタル化の推進

○記録的な豪雨・豪雪など頻発・激甚化する自然災害、豚熱(CSF)等の発生
⇒災害に強い生産基盤の形成、ため池等の防災・減災対策による強靱化、防疫対策の推進

○新型コロナウイルス感染症の感染拡大による生産・消費への影響(消費減退による農林水産物の価格低下、国産食材や食料安全保障への関心の高まり等)
⇒スマート農林水産業の普及による経営継続に向けた取組みの推進
⇒eコマースやオンライン商談会など新たな販売チャネルによる県産農林水産物の消費拡大

○SDGsを契機として求められる農林水産業の持続的な発展(環境に配慮した生産活動の推進、健康な食生活や持続的な生産・消費への関心の高まり)
⇒SDGsの礎となる人や環境にやさしい持続可能な農林水産業の推進

3. 第4次戦略策定の基本的な考え方

令和2年度から概ね10年間の県づくりの方向性を示すものとして、令和2年3月に策定した「第4次山形県総合発展計画」に掲げた農林水産分野に関する政策展開の考え方や施策の方向を踏まえ、今後10年間程度を見据えつつ、直近の4年間で取り組む具体的なプロジェクトを掲げた実行計画として策定

第4次山形県総合発展計画 政策の柱2:競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化

- 1 やまがたの農業を支える人材の育成と基盤形成
- 2 収益性の高い農業の展開
- 3 「やまがた森林ノミクス」の加速化
- 4 付加価値の高い水産業の振興

4. 第4次戦略(令和3～6年度)

名称

○これまでの累次の戦略との連続性・継続性を明示することにより、高付加価値、ブランド力のある農林水産業の振興という一貫した方針(メッセージ)を発信
○高度人材の育成・多様な担い手の確保、災害に強く活気ある生産基盤の形成、ブランド化などの県産農産物の魅力向上、森林ノミクスの加速化、水産業の成長産業化など、本県農林水産業の活力を新たに「創造」
⇒次期戦略を「第4次」戦略と位置付け、元気の「再生」から「創造」へと歩みを進め、新たな本県農林水産業を象徴する名称として、「第4次農林水産業元気創造戦略」とする。

共通目標・共通目標指標

ウィズ・ポストコロナを見据え、本県農林水産業における新たな活力を創造していくため、引き続き、これまでの高付加価値化やブランド化に向けた取組みを推進していくとともに、本県農林水産物の、県内外、さらには国外への販売を拡大していく取組みを通して、食料供給県としての本県農林水産業のさらなる発展と生産者の所得向上を目指す

【共通目標】
県民・国民のいのちをつなぐ食料供給県やまがたのさらなる発展

【共通目標指標】
生産額ベース 食料自給率 200%超 (参考) 平成30年度:181% 令和元年度:191%
(県民全体の食料消費額の2倍の金額を生産し、売り上げ、国内外に供給)

<山形県の生産額ベース 食料自給率>

$$\text{山形県の生産額ベース 食料自給率} = \frac{\text{山形県の食料生産額(年間)*}}{\text{山形県の食料消費額(年間)}}$$

※山形県の食料生産額(年間) = 農林漁業産出額 - 農業産出額 + 林業産出額 + 漁業産出額(海面漁業・養殖業)
(花きや木材等の非食品目目は、自給率の計算に含まない)

5つの基本戦略と評価指標(KPI)

基本戦略	ひとづくり	○新規就農者数:東北1位(R2)⇒東北1位 ○スマート農業取組件数:77件(R1)⇒150件	農林漁業産出額 2,584億円(H30)⇒2,750億円 (農業産出額:2,480億円(H30)⇒2,620億円 林業産出額:82億円(H30)⇒95億円 漁業産出額:22億円(H30)⇒35億円)	食料自給率200%超
	むらづくり	○大区画整備面積:3,560ha(H30)⇒4,700ha		
	かちづくり	○農業者当たり産出額:639万円(H30)⇒745万円 ○生産農業所得:東北2位(H30)⇒東北1位 ○6次産業化付加価値額:581億円(H30)⇒650億円 ○県産農産物の輸出額:9.0億円(H30)⇒15億円		
	もりづくり	○県産木材供給量:53.5万m ³ (R1)⇒70万m ³ ○再造林率:64%(R1)⇒100%		
	うみかわ海川づくり	○経営体当たり海面漁業生産額 695万円(H30)⇒850万円		

5. 基本戦略の取組方向

【基本戦略1】意欲ある多様な担い手の育成・確保

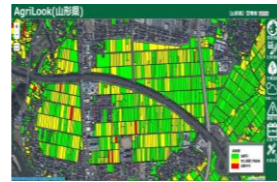
ひと
人づくり



1 人材育成・確保

～次代を担い、地域を支える新規就農者と東北・山形の農業を支える高度な人材の育成～

- [1]農業の担い手育成・確保支援
- [2]多様な人材確保・充実
- [3]次代を担う農業女子育成
- [4]専門職大学設置



衛生リモートセンシング

2 担い手・経営体育成

～社会情勢の変化に対応した、地域農業をけん引し、支えていく意欲ある多様な担い手・経営体の育成～

- [5]農業トップランナー育成・発展
- [6]多様な担い手支援
- [7]農業経営力向上支援
- [8]担い手への農地集積・集約化促進
- [9]スマート農業普及加速
- [10]農業情報ポータルサイト充実強化
- [11]農業経営セーフティネット強化

【基本戦略2】活気あるしなやかな農村の創造

むら
農村づくり



3 基盤強化・強靱化

～次世代の担い手が活躍できる生産基盤の強化と大規模災害等にも対応できる強靱な生産基盤の形成～

- [12]水田農業の低コスト化に向けた基盤整備促進
- [13]次世代人材の定着に向けた園芸団地形成推進
- [14]災害等に強い農業・農村づくり
- [15]鳥獣被害対策

4 地域活性化

～農林水産物等の豊富な地域資源を活かした農山村地域における付加価値の創出と情報発信機能の強化～

- [16]元気な農村(むら)づくり総合支援
- [17]中山間・棚田地域持続的農地保全・振興
- [18]再生可能エネルギー導入推進



ラジコン式草刈り機による農地管理

5 環境保全型農業

～SDGsの礎となる人と環境にやさしい持続可能な農業の推進～

- [19]持続可能な農業生産推進

【基本戦略3】魅力ある稼げる農林水産業の追求

かち
魅力づくり



6 土地利用型作物

～「つや姫」・「雪若丸」がけん引する売れる米づくりの推進とスマート農業の導入による水田農業の収益性向上～

- [20]県産米ブランド化推進
- [21]需要に応じた米生産推進
- [22]土地利用型作物安定生産・評価向上

7 果樹

～「やまがた紅王」のブランド化をはじめとした収益性の高い果樹産地づくりの推進～

- [23]山形さくらんぼ世界一ブランド強化
- [24]西洋なし産地ブランド強化
- [25]りんご産地生産力強化
- [26]ぶどう産地活性化
- [27]もも産地拡大
- [28]特産果樹産地強化



やまがた紅王

8 野菜・花き

～次世代型施設園芸の導入と水田フル活用による野菜・花き産地の拡大～

- [29]山形えだまめ日本一産地化
- [30]やまがた野菜ブランド力強化
- [31]やまがた花きブランド力強化
- [32]やまがた方式次世代施設園芸推進

9 畜産

～山形生まれ山形育ちの畜産物の生産拡大と安全・安心な生産・供給体制の構築によるブランド力の向上～

- [33]地域で支える畜産生産基盤強化
- [34]やまがたの和牛増頭・評価向上
- [35]やまがたのミルク生産・消費拡大
- [36]県産銘柄豚評価向上・販路拡大
- [37]県産鶏肉等生産・販路拡大
- [38]県産飼料生産・活用促進
- [39]安全・安心な県産畜産物生産



県産種雄牛「美結喜」号

10 6次産業化

～豊かな農林水産物と魅力ある地域資源を活かした農林水産業を起点とした新たな付加価値の創出～

- [40]販売チャネルの多角化による需要開拓・販路拡大
- [41]他分野・他産業との連携拡大
- [42]県産農林水産物を起点とした食産業振興
- [43]6次産業化による多彩なアグリビジネス振興
- [44]6次産業化推進基盤強化

11 流通販売・輸出促進

～優れた農林水産物の認知度向上に向けた「山形ブランド」の確立・定着と市場の特性に応じた販路・輸出拡大～

- [45]「おいしい山形」推進
- [46]「山形ブランド」評価向上
- [47]県産農林水産物販路拡大
- [48]食育・地産地消推進
- [49]県産農産物等輸出拡大



おいしい山形フェア

【基本戦略4】「やまがた森林ノミクス」の加速化

もり
森林づく



12 人材育成・地域づくり

～林業を支える人材の育成や事業体の強化と県民総参加による魅力ある地域づくりの推進～

- [50]林業を支える人材育成と事業体強化(「専門職大学設置」を含む)
- [51]魅力ある地域づくりと参加意識醸成

13 県産木材の安定供給・森林の多面的機能の発揮

～スマート林業の導入による生産性・収益性の高い林業の展開と森林の管理・保全による多面的機能の発揮～

- [52]県産木材安定供給推進
- [53]主伐・再造林推進
- [54]多面的機能の高い森林管理・保全
- [55]災害等に強い治山対策推進

14 県産木材の加工流通体制強化・付加価値向上

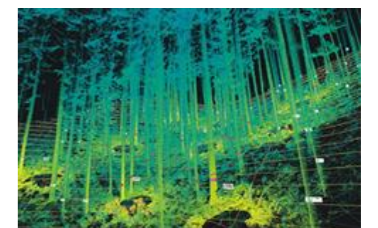
～需要に応じた加工・流通体制の構築による県産木材の付加価値向上～

- [56]県産木材の加工流通体制強化と付加価値向上

15 県産木材の利用促進・特用林産の振興

～「しあわせウッド運動」の展開や都市との交流等の促進、山形の山菜・きのこのブランド力向上～

- [57]県産木材利用促進
- [58]特用林産振興



地上レーザー測量による間伐等の選木

【基本戦略5】水産業の成長産業化

うみかわ
海川づく



16 海面漁業

～新規就業者の育成・確保とスマート漁業導入や付加価値向上に向けた技術の推進による海面漁業の成長産業化～

- [59]持続可能な海面漁業生産基盤整備
- [60]海面漁業の成長産業化に向けた経営基盤強化

17 内水面漁業

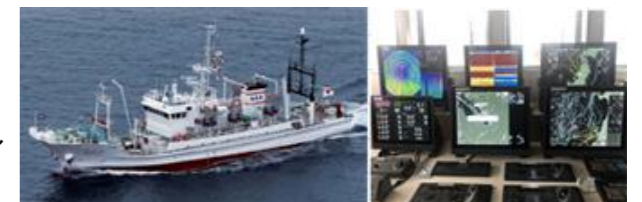
～ブランド化に向けた種苗供給体制の確立をはじめとした、つくり育てる漁業の推進による内水面漁業・養殖業の振興～

- [61]持続可能な内水面漁業・養殖業振興

18 県産水産物の利用拡大

～「新しい生活様式」に対応した付加価値の向上に向けたバリューチェーンの形成による県産水産物の消費拡大～

- [62]県産水産物の利用拡大



最上丸からのリアルタイム漁場データの共有化

19 水域環境の確保・活用

～漁業者の安全・安心の確保と漁村・内水面漁業地域との交流の促進～

- [63]安全・安心で健全な水域環境確保・活用